

(様式2)

「京丹後市立病院改革プラン【改訂版】（案）」の概要

1 趣旨について

本市では、厳しい状況変化にも対応し、持続可能な経営の健全化に取り組むため、「京丹後市立病院改革プラン」及び「京丹後市立病院経営計画」の見直しを行い、「京丹後市立病院改革プラン【改訂版】」を策定することとします。

2 新公立病院改革ガイドラインにおける4つの視点による主な内容

- ※4つの視点：①経営効率化
②再編・ネットワーク化
③経営形態の見直し
④地域医療構想を踏まえた役割の明確化

3 都道府県が策定する地域医療構想について

新公立病院改革ガイドラインにおいては、都道府県が策定する地域医療構想を踏まえて策定することとしていますが、現在、京都府から地域医療構想が示されていないことから、地域医療構想策定後に齟齬が生じた場合は、速やかに「京丹後市立病院改革プラン【改訂版】」を修正することとします。

4 市立病院事業

(1) 運営方針

京丹後市立病院経営計画に掲げていた5つの運営方針を引継ぎ、継続して取り組みます。

(2) 一般会計の負担

収益の増加及びコスト削減を図るとともに、繰出基準に基づいた一般会計からの繰出しを行います。

(3) 経営形態の見直し

当面、現在の地方公営企業法一部適用（財務）のままとし、計画最終年度の数値目標である資金収支の均衡が困難と認められる場合、経営形態の見直しも検討します。

(4) 再編・ネットワーク化

当面、現状の2病院の形態のままとしますが、地域包括医療・ケアシステムの推進のため、他の医療機関や介護・福祉施設等とのさらなる連携に取り組みます。

5 市立弥栄病院

(1) 病院の基本理念・運営方針

「質の高い患者本位の医療の提供、保健と福祉への貢献、安らぎの感じられる医療」という3つの理念の下、事業を推進します。

(2) 具体的取り組み

- ①地域医療構想を踏まえた役割の明確化

地域医療を積極的に担うべき地医療拠点病院として、かかりつけ医的な役割も踏まえた、患者の受入れに加え、二次救急医療機関として救急患者の受入れを行うとともに、地域包括医療・ケアシステム推進のため、急性期・慢性期・回復期の病棟運営を行います。

②経営の効率化

経営コンサルタントの活用等により経費削減・抑制を図ります。また、研修医等の積極的な受入れや認定資格取得の推進・教育研修体制の充実等を通して人材育成を図り、診療報酬加算の取得を目指すとともに、病床機能の転換も検討します。

6 市立久美浜病院

(1) 病院の基本理念・運営方針

「笑顔と心のこもった良心的な医療」「地域に密着したぬくもりのある確かな医療」「保健・医療・介護・福祉を一体化した包括医療」の3つを基本理念に、事業に取り組みます。

(2) 具体的取り組み

①地域医療構想を踏まえた役割の明確化

かかりつけ医の役割を持ちながら、急性期医療から慢性期医療、在宅医療まで幅広い医療提供を担うとともに、保健・介護・福祉の連携機能をさらに充実させ地域包括医療・ケアシステムの推進のための中心的な役割を果たしていきます。また、病床の一部転換を検討します。

②経営の効率化

職員のコスト意識の醸成等による経費削減・抑制対策を図るとともに、病床転換による収益の増額等も検討します。また、研修医や認定看護師等の受入れによる人材育成の推進を図り診療報酬加算の取得を目指します。

7 計画実施期間

平成 29 年度から平成 32 年度まで